



2016年11月29日発行  
「大人の名古屋」に掲載されました。

# Doctor's News

最近では街のクリニックでも、大きな医療機関と同等の医療機器を用い、レベルの高い医療が行われている。健康に関する悩みを相談するのに、信頼のおけるクリニックを紹介する。

【塩釜口】

## 天白宮田クリニック

てんぱくみやたクリニック

診療内容／慢性胃炎 胃潰瘍 大腸ポリープ 潰瘍性大腸炎 クロウン病 痔 胃がん健診 大腸がん健診 肺がん健診 前立腺がん健診



「天白宮田クリニック」は通行量の多い国道153号線沿いにあり、クリニック名の入った大きな看板が目印だ。4階建ての建物の中には入院設備も兼ね備えている。



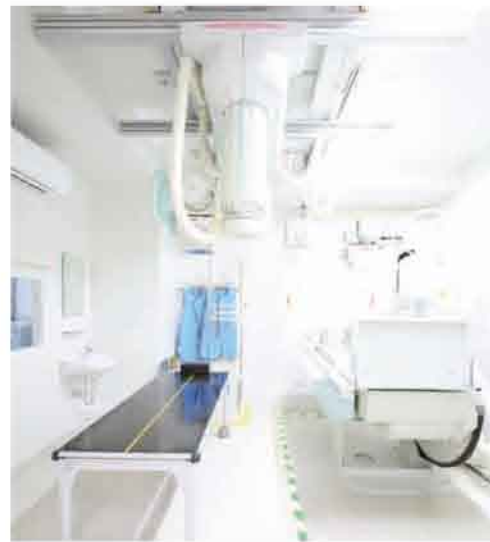
大きな窓から光が差し込む院内は明るくて開放的。床には木材を使用しているため、温かみのある落ち着いた雰囲気だ。



052-802-3311 名古屋市天白区一本松2-11-02 9:00~12:00 16:30~19:00 日、祝、木午後、土午後 各種健診¥500~あり 地下鉄鶴舞線塩釜口駅1番出口より徒歩15分または市バス百々ヶ池バス下車から徒歩すぐ 検査は要予約 clinic-miyata.jp



建物4階にあるCT室。ここで大腸CT検査を実施する。



レントゲン室もあるため、様々な検査に対応が可能だ。



### 院長 宮田雅弘

藤田保健衛生大学卒。名古屋掖済会病院などを経て、同大学の消化管内科助教に。糞便移植療法の立ち上げに尽力した。今年3月、TV番組「その原因、腸にあり」に出演など、多方面で活躍。

1.以前は外科を担当していたという宮田院長。処置室では外科治療も行っている。2.改装されたばかりの院内は清潔感のある空間。待合室も明るくリラックスできる雰囲気。3.処置室にはリハビリ装置を完備。気軽にマッサージ師による施術を受けることができる。4.先進の内視鏡機器を備えている。

### 先進の内視鏡を導入して 胃腸のトラブルを発見

天白区の住宅街で37年間、地域に密着した医療を展開してきた「宮田胃腸科外科」が、院長の代替わりを機に装いを一新。「天白宮田クリニック」と名称を改め、今年10月にリニューアルオープンした。新たに就任したのは宮田雅弘院長。「藤田保健衛生大学」では、腸内細菌治療に関する臨床研究を担当してきた。「胃腸のことならお任せください」と話す宮田院長が特に力を入れているのが、内視鏡検査だ。リニューアルに合わせて、大学病院にも引けを取らない先進の機器を導入するなど、街のクリニックとは思えない充実の検査体制を確立した。「内視鏡のよいところは、胃腸のトラブルに幅広く対応できることです。大きな病院とは違って気軽に検査が受けられるので、胃腸の調子が気になる方は、ぜひ一度ご相談ください」と宮田院長。

同クリニックでの内視鏡検査は、できる限り苦痛の少ない方法で行っているものの、どうしても抵抗感のある人には、大腸CT検査を勧めるといふ。部位別がん死亡者数を見ると、大腸がんは女性が1位、男性が3位となっている危険な病気だ。「がんは早期に発見し、早期に治療を行えば決して治らない病気ではありません」と宮田院長。「二次検査の便潜血健診と二次検査の大腸内視鏡検査の間、二次健診といえる大腸CT検査は、内視鏡と比べて時間が短く、痛

みも少なく済むため、大腸がんの健診率を高め、大腸がんで亡くなる方を減らす有効な手段です。また、仮に検査でポリープが見つかった場合には、日帰りの切除手術を実施。単に検査をして終わりではなく、異常が見つかった場合には迅速に対応してもらえるので安心だ。

新しく改装されたばかりの病院は、明るくて清潔感に溢れている。BGMが流れる院内は居心地がよく、待ち時間もリラックスできる雰囲気だ。宮田院長をはじめ、全スタッフが患者に安心感を与えられるような雰囲気づくりを心掛けている。地域に密着した医療を展開していくという方針は、リニューアル後も変わらぬまま。「天白宮田クリニック」は、病気のことや健康のことを、安心して相談することができる。かかりつけ医だ。